

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者の高齢化にあたり終末期ケアを考えなくてはいけない時期になっているので、介護医療の知識を高め、いつでも終末期ケアが出来る体制を作りたい。	医療機関との連携を図り終末期ケアが取り組めるような体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との医療体制について話し合う。</li> <li>・終末期ケアを取り組んだ時の職員の不安、問題点を出し合う。</li> <li>・不安の解消の為にカンファレンスの時に入居者の特変があった時の処置の方法と症状の経過観察の視点と記入方法等の勉強をする。</li> </ul>	12ヶ月
2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期に近づいてきた時の入居者の身体的変化に職員が気づく力を身につける。</li> <li>・夜間帯に症状が急変した時の体制作りの再確認をする。</li> <li>・急変した時の対応の仕方の勉強をする。</li> </ul>	ヶ月
3				<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の研修会に参加を促し、スキルアップすることにより医療面の不安の解消を図る。</li> <li>・利用者の方が安心して終末期を迎えられる職員の人員体制を整える。</li> </ul>	ヶ月
4				<ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDを当施設にも設置を事業者に提案する。</li> <li>・AEDがいつでも使用出来るよう使い方を勉強、又は消防署の救急講習に参加をする。</li> </ul>	ヶ月
5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の時を家族も一緒に過ごしたいと望んでみえる方への施設での体制作り。</li> <li>・グループホーム終末期ケアの指針を家族・職員を交えて話し合う。</li> </ul>	ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害が発生した時に施設周辺で生活をされている介護を必要とされる高齢者の方を、施設で受け入れを行い、地域の方に必要とされる施設にしていきたい。	施設事業部と地域の自治体と災害時の介護を必要とする高齢者の方、家族が安心して生活を送れる。	・災害時に施設ではどのような受け入れが出来るかを検討する。 ・医療、食事、寝具、衣服を災害時にどのような方法で補っていくか検討する。	24ヶ月
2				・インターネット上で介護施設が災害被害の介護高齢者の受け入れをしているか勉強を行う。 ・施設でも災害時の対応の勉強会に参加し、施設内でも勉強会を開く。	ヶ月
3				・災害時の職員の配置の体制作り ※職員自身の自宅が災害にあっている時の勤務体制を整える。	ヶ月
4				・自治会に災害時に当施設が介護高齢者の受け入れを行うにあたっての不安を聞く。	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。